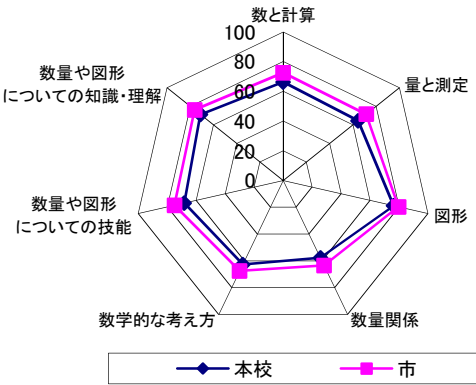


宇都宮市立宝木小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	66.3	72.5
	量と測定	64.4	71.5
	図形	76.2	79.6
	数量関係	57.7	63.5
観点別	数学的な考え方	62.7	67.6
	数量や図形についての技能	68.3	75.1
	数量や図形についての知識・理解	71.2	76.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・分数の加法、小数の乗法(乗数が整数)、偶数・奇数は正答率も高く、理解が見られた。しかし、小数の除法では、立式、余りのある計算、文章題での記述問題につまずきが見られ、正答率も低かった。	・分数や小数の計算問題については、通分の仕方や小数点の動かし方などの復習をしたり、計算の仕方を丁寧に確認したりして問題練習に繰り返し取り組ませる。 ・文章題を扱う際には、問題場面を図や数直線で表すなど、問題場면을把握しやすくして抵抗感を無くしていくとともに、様々な場面の文章題を解くことで習熟を図る。
量と測定	・立方体の体積を求めたり、展開図から直方体の体積を求める問題では、正答率が約6割程度だった。平均を求めることはできるが、単位量当たりの大きさを求める問題では、正答率が低く約5割程度だった。	・立体の見方に慣れさせたり、体積を求める公式をしつかりと覚えさせたりする。また、公式を使って確実に計算し、体積を求められるように復習させる。 ・単位量当たりの大きさの概念を図や表を使って理解させ、問題に取り組んで復習させる。
図形	・三角形の角の問題や立方体の展開図の問題、合同な図形の性質の問題では、よく理解しており正答率が高かった。四角形の辺の関係や対角線の性質の問題、多角形の内角の和を求める問題では、誤答が多かった。	・三角形、四角形については、辺や角、対角線の関係について整理して復習させるとともに、習熟を図るために練習問題を多く行う。 ・多角形の辺や角、内角の和の関係についても、図や表を使って整理しながら理解を深めさせるとともに、練習問題を多く行う。
数量関係	・計算のきまり(分配法則を小数へ拡張させる問題は、市平均を6ポイント下回った。変わり方調べ(伴って変わる二つの数量《比例》を式に表す)の問題は、正答率が低く5割程度であった。	・計算のきまりについては、分配法則について、再度復習させる。また、整数だけでなく小数を使った問題についても理解させ、数多くの問題を解かせることで定着を図っていく。 ・変わり方調べ(比例)については、表の見方や単位量となる数の読み取り方などの復習を繰り返し、理解を深めていく。